

令和3年度 第2回山陽小野田市地域公共交通会議

議事録

令和4年1月11日(火)

2.報告事項

発言者	発言要旨
高畑高泊循環線の見直しについて	
委員	<p>高畑・高泊を循環線として運行しているが、高泊を別の移動手段で運行する場合、ダイヤに空き時間が生じるが、高畑方面(小野田駅～高畑間)の運行は見直しを検討されているか。</p> <p>高泊地区の新しい移動手段は令和4年10月から運行開始予定ということで、現行の高泊循環線の運行計画に変更が必要になるため、見直す場合は早めに情報共有して頂きたい。</p>
事務局	<p>今回は高泊地区の見直し検討を実施しているが、高畑地区で意見交換は行っていない。現時点では現状の運行便数を維持したいと考えているが、今後、事業者と協議して決めたい。</p> <p>今年度中に再度地域公共交通会議を開催し、10月までのスケジュールを検討したい。今運行されている船木鉄道さんと協議の上、調整したい。</p>
会長	<p>今後のおおよそのスケジュール感をご提示いただきたい。3月に地域公共交通会議を開催するということがよいか。</p>
事務局	<p>予約型乗合タクシーの具体的な見直し案を提示するため、高泊地区で第3回の意見交換会を2～3月頃に開催する。ここで運行計画を固め、今年度中にまた結果を報告したい。</p> <p>どの事業者に運行して頂くかは、来年度承認を頂きたい。</p>
委員	<p>乗合の許可を持っていない事業者が運行する場合は、2カ月の標準処理期間が必要になる。乗合の事業認可は1カ月で可能だが、新規許可は5月末までに運行計画を全て決定する必要がある。</p> <p>このスケジュール通りに決定が難しいようであれば、事前に山口運輸支局が中国運輸局と調整し、できるだけ10月に間に合うように協力することはできる。</p> <p>※標準処理期間は、会議終了後、発言した委員からの訂正連絡ありのため、会議終了後に訂正して記載しています。</p>
委員	<p>新車を購入し運行される場合は、コロナ禍で納期が後ろ倒しになることがあるため、早めに発注した方がいいと思う。</p>

事務局	ご意見頂き、ありがたい。意見交換会では、現状の車両よりも小さいハイエースといった意見だけでなく、セダン型タクシーによる運行でもいいのではないかといった意見が挙がった。市としては道路状況を踏まえ、ハイエースよりも小さいセダン型も視野に入れ検討したいと考えている。事業計画が固まり次第、事業者には情報提供したい。
会長	委託事業者の選定にあたっての仕様を決める中で気を付けたほうが良いという意見だと思う。 現在の見直し案は、小野田駅周辺や国道 190 号沿いの商業施設や医療機関をメインに運行することになっているが、意見交換のまとめで少し挙がっていた労災病院やサンパーク等への移動はどうするのか。
事務局	高泊地区で検討している予約型乗合タクシーは、地域内の移動が目的の支線であるため、労災病院やサンパークへは、路線バスに乗り継いで移動してほしいと考えている。
会長	定時定路線型と比べ、予約（デマンド）型の運賃は 100 円高くなっているが、意見交換会の参加者は理解しているか。
事務局	現在厚狭地域で運行している殿様号・姫様号が 1 乗車 300 円で運行している。定時定路線型のバス停よりデマンド型は自宅や目的地付近で乗り降りできるため、運賃を少し高く設定することを意見交換会で説明し、参加者も理解されたと認識している。
会長	今後は地域公共交通会議において承認をする内容もあると思う。現時点では予約型で検討を進めると理解した。手続きの話もあったので、そのあたりも踏まえて進めて頂ければと思う。

3. 協議事項

発言者	発言要旨
地域公共交通確保維持改善事業（フィーダー系統）に係る事業評価	
会長	状況によってはダイヤや便数を見直すとのことだが、改正のタイミング等は想定されているか。
事務局	毎年 10 月～9 月の区切りで運行しているが、令和 4 年 10 月からすぐに減便するという具体的な見直しは考えていない。3 便から 4 便に増便したが、あまり使われない便もあると認識している。 運行事業者が変わった影響があるのかどうか確認しているが、乗る時期と乗らない時期がある。上りの 13:30 の便、下りの 15:30 の便は利用があまり見られないため、必要に応じて統合する等考えられるが、いずれにせよ

	令和4年10月からではなく、利用者等の声を聞きながら、中長期的視点に立って検討していきたい。
会 長	午後に厚狭駅周辺から自宅へ向かう便の輸送人員が少ない。高齢者が午前中に移動され、行きはデマンド・帰りはタクシーという利用パターンも他の自治体では見られる。利用者が減少しているため、そのあたりを踏まえてテコ入れは必要だと思う。 このたびの事業評価については、交通会議として承認されたものとみなしてよいか。
委 員	異議なし。

4. その他

発言者	発言要旨
国の第3次補正予算における補助事業について（山口運輸支局より説明）	
会 長	コロナ以前にどの程度戻るか、各事業者が懸念している所だと思う。今後見直しの話も出てくると思うため、どこかで議論が出てくると思う。
地域公共交通網形成計画について	
会 長	公共交通計画策定のスケジュール等は決まっているか。
事 務 局	来年度、地域公共交通計画策定を予定している。プロポーザルで委託事業者を選定した後、計画策定に着手する予定である。現在の網形成計画の計画期間を1年延長したことで、網形成計画から継ぎ目なく計画を策定する予定である。
会 長	網形成計画策定後の7年間に状況が大きく変わっており、利用者減等で厳しくなった部分、制度改正等で昔はできなかったことができるようになったことや、先進的な技術が進んだ部分もある。 今後の山陽小野田市の公共交通の方向性を議論していくことになることをご承知おき頂ければと思う。
閉 会	